

医療安全管理室からのお知らせ **8**  
**“南3病棟の医療安全の取り組み”**



南3病棟は神経内科病棟です。

院内で人工呼吸器の稼働数が最も多く、現在17台稼働しています。人工呼吸器は患者様の命を支えます。私たちは、常に作動状況を監視して、

回路の外れがないか、設定があっているかなどしっかり確認を行っています。設定から外れた場合は呼吸器のアラーム(警告音)が鳴ります。病棟内のどこにいてもアラームが聞こえるように音量を上げてありますので、少しでも異常があればすぐに駆けつけることができます。患者様に安全に過ごしていただけるように緊張感を持って看護をしています。

その上でいつも笑顔を決やらず、人工呼吸器をつけた患者様の状態に応じて瞬きや50音の文字盤、パソコンなどのコミュニケーションツールを活用しながら、心の通う看護に心がけています。

医師の指示を記入し、表とパネルの数字が同じか、指をさして声を出して確認。

透明なアクリル板に50音を書いてある為、お互いに顔を見て会話ができます。

最近はパソコンでも50音表を使用してコミュニケーションが取れます!!

(南3病棟医療安全推進担当者 副看護師長 三輪 満貴代)

三重病院 **ミニ** レポート

**看護週間・看護の日**

① 5月12日から18日は、「看護週間・看護の日」でした。近代看護を築いたフローレンス・ナイチンゲールの誕生日にちなみ、5月12日は看護の日に制定されました。1965年から、国際看護師協会(本部:ジュネーブ)は、この日を「国際看護師の日」に定めています。

看護週間は、看護の日を含む日曜日から土曜日までの1週間です。

多くの方に看護について知っていただく為、三重病院でもエントランスのロビーに当院の各病棟や外来、手術室などの看護の様子を展示しました。



② 平成25年「看護の日・看護週間」の事業キャンペーンとして、5月15日にPRバス全国キャラバンのバスが三重病院にもやってきました。看護の日PRビラとグッズを配布した後、隣の奈良県へと発ちました。



**やまばとギャラリー**

